

海外展開のススメ

パート⑧

海外市場をオンラインで視察

国際センター
とっぴねス

(公財)鳥取県産業振興機構(竹内団地、夢みなどタワー内)が海外展開の支援事例などを紹介するこのコーナー。今回のテーマは「オンライン海外市場視察」です。

とっとり国際ビジネスセンターは、コロナ禍で海外渡航が制限される中でも、Web商談会やオンライン視察などで、新たな海外市場に触れるための機会づくりを行っています。先日は「オンライン海外市場視察セミナー

「ベトナム編」を実施。日本食の需要が拡大するベトナム現地の動向を肌で感じてもらうため、ベトナム・ホーチミン市の酒屋、物流会社、そして147店舗を展開するコンビニの代表者らとオンラインでつなぎました。現地からは「ベトナム

は安全・健康志向が強く、特に子ども向け日本製品が若いママに人気」「商品価値をどう伝えるか(パッケージなど)が重要」「現地の嗜好に合わせた商品提供も必要」など、さまざまな生の声が聞かれました。一方で、国内市場では、依然として続く材料費の高騰を受けても価格転嫁が進まない現状を聞きま



ベトナム視察をオンラインで展開中

海外には県内商品の価値を認めてもらうことで、価格以外での勝負ができる地域が多くあります。また、経済連携協定(EPA)により、関税ゼロで取り引きができる国・地域もありますので、円安のこの機に海外に目を

向けることをお勧めします。

実際、JETRO統計では、2022年上半期で「食料品」「繊維・同製品」「一般機械」の半数以上の品目が輸出数量増との結果でした。

当センターは、このような視察セミナーやWeb商談を定期的の実施し、現地バイヤーとの交渉機会などの創出を図っています。興味がありましたらぜひ、これらの機会をご利用ください。詳しくは、当センター(☎30-3161)まで。